

A 本町においても、1月25日に副町長直轄の「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を設置し、情報収集を行い、対策に万全を期すこととしている。現時点では、接種計画の策定には至っていないが、町民の皆さまに安全で有効なワクチンを一日でも早く提供できるように、関係機関と連携を図り接種体制を整え、接種計画を策定していく。

(副町長)



図書室の活用について

Q 近年、電子書籍の売上が伸びているに加え、電子書籍を貸し出す電子図書館を持つ自治体も増えてきているが、当町の取組について伺いたい。

A 全国で電子図書館を導入している自治体は143自治体、139館あり、このうち茨城県内で導入している市町村は8市である。

今日のコロナ禍にあつては、電子図書館は施設の開館時間に関係なく非接触で利用できるが、電子書籍導入には利用できるコンテンツが紙媒体に比べて少ないことや、購入費用が高額になる等様々な課題があるため、今後は実施団体の利用状況や導入費用など、費用対効果について調査研究をしていきたい。

(教育次長)

議席1番

鈴木 英明 議員



防災・減災対策について

Q 新型コロナウイルスを始めとした感染症対策について伺います。

A コロナ禍において、万が一災害が発生した場合には三密防止などの感染対策のため避難所の収容人数は4割減となる。

避難者用備蓄品については、地方創生臨時交付金や地元企業、個人からの寄付金・物品等を有効に活用する。一番の対策はマスクの着用、手洗い・消毒、三密の防止など、一人ひとりの感染対策が重要であると考える。

(危機管理部長)

Q 避難行動要支援者に対する個別計画の進捗状況について伺います。

A 支援者名簿の中でも、健康的な高齢者などの(自助)、親戚、近隣からの支援を得られる(共助)以外で、真に避難支援が必要な要配慮者をリストアップし、実効性のある個別計画作成に向け準備中である。

(危機管理部長)

都市再生整備計画について

Q まちなかウォーカブル推進事業区域内、国道354号付近における整備の進捗状況について伺います。

A 境町の玄関口となる道の駅さかいを核として、周辺の交流施設や観光施設を歩いて回遊できるまちづくりを推進している。

整備の進捗状況は、県道結城野田線の山神町交差点から河岸の駅さかい区間のセンターラインを消去し、路側帯を広げる工事発注に向けて準備している。また、河岸の駅さかいから道の駅さかい区間の利根川堤防の小段を活用した遊歩道の整備については、現在、測量設計業務を進めている。

(建設農政部長)



観光施設等を歩いて回遊できるまちなかウォーカブル推進事業